

平成23年5月23日

各 位

第19回新宿医学会のお知らせ

新宿区医師会 学術委員会

広域大災害発生時救援活動の ルール は順に

自助！ 共助！ 公助！ です。

災害発生直後はそれぞれの地域で救護を立ち上げなくてはなりません。周辺、行政からの救援を待つまでこの時期の活動は大変重要です。日頃地域住民の健康維持を任されている我々医師会員の初期対応は当然大きな部分を占めますし期待も大きいものがあります。有効な活動をするには**事前の訓練**が必要です。残念なことに新宿区医師会には**首都圏直下型大震災**を想定した具体的な**行動マニュアル**がありません。それぞれの地域に適したマニュアル作りには会員多くの協力が必要です。救急専門医ではなく**一般開業医の参加**です。

今回の新宿医学会では“**大災害救援活動**”をメインテーマに現在の“**新宿区**”を報告しそしてこれからの対策を

区内4総合病院、3大学、災害時新宿駅西口協議会、新宿区行政と共に模索したいと考えています。

期日 平成23年6月4日(土) 午後2時から6時

場所 保健医療公社大久保病院隣 健康プラザハイジア

揺れる大地、寄せる大波、降り注ぐ放射能 ガンバレ日本わが祖国

19回新宿医学会プログラム

日時 平成23年6月4日(土) 午後2時から

場所 健康プラザハイジア(大久保病院隣り)

(新宿区歌舞伎町2-44-1)

メインテーマ 「大規模災害時の医療機関連携」

開会挨拶 第19回新宿医学会会長 東京都保健医療公社大久保病院院長 小倉三津雄
新宿区医師会会長 木島 富士雄

【 一般演題 】

司会 村川 祐一(四谷)・三輪 祐一(牛込)

1. 転倒頭部外傷予防に対する帽子着用の有用性に関する実験的研究

鈴木医院 木原 幹洋

2. B型肝炎ウイルス(HBV)とヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症の深い関連

東京医科大学病院 臨床検査科 四本 美保子

3. 高度胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術:胆嚢床粘膜焼灼例の検討

社会保険中央総合病院 外科 伊地知 正賢

大久保病院 血管外科 紹介

「虚血を伴う足の潰瘍の治療」 東京都保健医療公社大久保病院外科 菅野範英

【 災害関連 】

司会 澤田 進(大久保)・實重 真吾(落合)

1. 災害時医療に役立つ診療情報提供書の作成、配布とその有用性

新宿三井ビルクリニック 柴田 仁太郎

2. Tsunami-related aspiration pneumonia と考えられた1例

国立国際医療研究センター病院 総合診療科 吉澤篤人

3. 「東日本大震災 東京DMAT活動報告-看護師の立場から-」

東京女子医科大学病院 看護部 赤池 麻奈美

司会 須田 昭夫(戸塚)・阿部 香織(淀橋)

4. 当院における東日本大震災後の医療支援活動について

東京厚生年金病院 内科 山川 元太

5. 東日本大震災後の医療救護活動の経験から今後の災害医療について考える
東京都保健医療公社大久保病院 内科 鈴木 智彦

6. 大地震発生直後の緊急対応と今後の課題
慶應義塾大学病院病院長 武田純三

★☆☆☆ 休 憩 ★☆☆☆

【 ミニレクチャー 】

司会 百溪 尚子 (牛込)

”放射線による健康障害を考える。なにが危険でなにが大丈夫なのか？”
イリモトメディカル 煎本 正博

【 シンポジウム 】

司会 山田 充 ・ 東京医科大学救急医学講座教授 太田祥一

① 新宿区における災害時医療救護活動について

新宿区長室危機管理課長 平井光雄

②新宿区医師会の防災活動 新宿区医師会防災委員会 細谷哲男

③大災害時救護活動に対するアンケート報告

西北診療所 所長 羽田野 隆

④東日本大震災における国立国際医療研究センターの被災地支援活動

国立国際医療研究センター病院 救急科/救命救急センター 木村昭夫

⑤新宿駅西口地域防災の取組：立ち上げから経過と展望について

工学院大学教授・新宿駅周辺防災対策協議会 副座長 久田 嘉章

⑥一般市民と地域医療関係者による被災地内応急救護所における多数傷病者対応訓練

女子医大救急救命センター 武田宗和

【 討論 】

閉会挨拶 新宿区医師会副会長 黒瀬 巖